

Elementary school



未来の自分たちへの贈り物

第3回猪苗代"えと"タイムカプセル埋設式は12月16日、ホテルリステル猪苗代内の猪苗代ハーブ園で開催され、町内各小学校から6年生146人が参加しました。

猪苗代の子供たちの夢を応援する会の鈴木長治代表が趣旨を説明した後「どこまでもやり抜くという強い気持ちを持って、夢を追い続ける努力をしてください。12年後にまた会いましょう」と児童らにメッセージを送りました。

参加した児童を代表して、猪苗代小学校6年の涌井光佑さんが「12年後は事件の少ない世の中になっていることを願います。またここで会いましょう」遠藤安也奈さんは「修学旅行の写真と自分への手紙を入れました」と発表しました。

児童たちは、12年後を楽しみにしながらタイムカプセルを埋め、再会を誓いました。



写真上 この日参加した児童全員が集合。来年のえと、成就トラの前で記念撮影。
写真下 参加した児童を代表して発表した猪苗代小学校6年の涌井光佑さん(左)と遠藤安也奈さん(右)

Junior high school



クラス全員が心を込め歌う

2009 いなわしろ音楽祭は12月12日、町体験交流館で開かれ、合唱コンクールで最優秀賞を受賞した猪苗代中学校3年2組の生徒28人が参加しました。

この日は「春よ、来い」と「信じる」の2曲を披露。伴奏を務めた学級委員長の今田実里さんは「初めてのホールで緊張しましたが、音や声が全然違う。気持ち良く演奏できました」、指揮者を務めた副委員長の鈴木将平さんは「みんなよく声が出ていたので、気持ち良く指揮ができました。点数をつけるとしたら150・・・いや170点くらいですね」と笑顔で感想を述べました。

生徒の指導に当たった担任の大内裕司教諭は「ホールでの演奏ということで体育館とは違う響きがあった。生徒たちも気持ち良く歌えていたと思います」と教え子たちの活躍を褒めたたえました。



写真上 クラス一丸となって2曲を歌いあげた3年2組の皆さん。演奏後、会場は大きな拍手に包まれました
写真下 「中学校生活の最高の思い出になりました」と今田さん(左)と鈴木さん(右)

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO

High school



クロカンチームが雪上トレ

猪苗代高校スキー部クロスカントリーチーム(部員7人)が、雪上でのトレーニングを開始しました。大雪警報が発令された12月18日、その練習を見学してもらいました。

同校体育館でのウォーミングアップを終え、猪苗代スキー場の下側、30度以上も雪が積もる林道に向かいます。武藤コーチのランドクルーザーが雪を踏み固めた後、自分たちでコースを作るところから練習開始です。シーズンの初めとはいえ、厳しい練習環境だと思いましたが、生徒たちは黙々と取り組んでいました。

クロスカントリーチーム代表の加藤由香さん(3年)は「女子チームリレーの目標はインターハイの入賞です。現在、福島県のリレー参加枠は1チームなので、悪くても20位以内に入って福島県の枠を増やしたいです」と意気込みを語りました。



写真上 大雪の中でも黙々とトレーニングに打ち込みます。
写真下 コースに向かい整列し「お願いします」とあいさつして練習の準備に入ります。猪高生の礼儀正しさには、いつも感心させられます。



自分たちでもちをついたよ

12月に入り、町内各保育所では恒例のもちつき会が開かれました。

新型インフルエンザの影響で延期となっていた猪苗代保育所のもちつき会は12月11日、同保育所で開かれ、子どもたちの「よいしょ、よいしょ」という元気なかけ声ともちつきの歌が保育所中に響き渡りました。

つきたてのモチは、汁もち、アーモンドもちと納豆もちの3種類に分けられ、子どもたちのお昼ごはんになりました。

佐藤想汰くんは「きねは重くなかったし、楽しかった。アーモンドもちが一番おいしかった」、高橋真緒ちゃんは「もちつきは楽しかったです。納豆もちがおいしかった」と感想を話しました。

きねを持ってない小さな子どもたちも、お兄ちゃん、お姉ちゃんのもちつきを笑顔で見つめていました。



写真上 「一人でも持てるよ」と話したうめ組の男の子。一人でもちをつこうとしましたが、やっぱりみんなと一緒に楽しい。
写真下 佐藤想汰くん(右)と高橋真緒ちゃん(左)

Nursery school